1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1998年９月21日発行　ＳＳＫＰ通巻658号　　つくつく通信No.26

SSKP　つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1998年９月号
(No.26)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

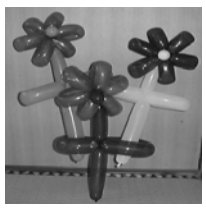
ふうせん三昧

ながい、なが～い!!

何を隠そう、つくしんぼは室内が風船だらけです。

しかも、ただの風船ではありません。細長く、めいっぱい膨らませると一メートルにはなるペンシル型バルーンというやつです。

この風船をひねって、曲げて、組み合わせて、いろいろな形の動物やら花などをコツコツと作るわけです。



芸人根性!?

この風船、あまりに芸のなさすぎるつくしんぼの職員達のかくし芸のために、と仕入れてきたものでした。

そして、見事にハマッてしまいました。思いっきり楽しいのです。

子どもが来ないうちからせっせと作り、失敗し、何十本もの風船を無駄にし……。子どもが来た頃には、全部の風船を消化してしまっていることもしばしばだったりする始末。

訓練の賜物か、お陰さまで職員達の腕はかなり上達しました。

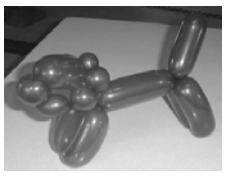
芸は身を助ける?

上達すると、つくしんぼの子ども達だけでなく、片っ端から他人に自慢したくなるのが芸人の習性です。

で、どうせなら、この芸を利用して、おおいにつくしんぼの運営費を稼ぎたい……。

ちょうどポップコーン製造機も購入できたことだし……。

こりゃ抱き合わせ商法でいくっきゃない。風船を欲しがる子どもに、無理やりポップコーンを一緒に売りつけてしまえば、売り上げは確実に二倍……。



ぼでのボランティアが交換条件となっております。

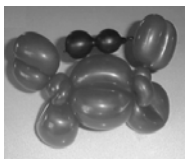
ここで宣伝をば……

つくしんぼでは、10月24日(土)に行われる「つくし野中フェスタ」(於 つくし野中学校)にポップコーン&風船の店を出店します。

さらに翌日の10月25日(日)の「町作連バザー」(於 東急前広場)にもたて続けで出店する予定です。

ご来店を心からお待ち申しております。

なお、風船作りの秘伝だけを知りたい方は……つくしん



♪♪♪つくしんぼ日記 その１♪♪♪

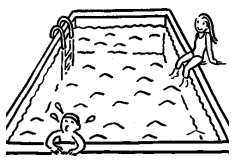
8月24日(月)　天気 晴れ

なんだかみんな顔がウキウキしているような。

今日は川崎市にあるヨネッティーという室内プールに行きます。一番喜んでいるのは某職員。でもさすがにお母さん達は鋭い。「若い子いないわよ～」。残念……。

流れるプールに25mプール、滑り台プール、ジャグジーあります。浮輪でプカプカ浮いたり、クロールで泳いだり。潜りながら流されたり、お母さん達も子ども時代に戻ったような無邪気な顔を見せてくれまして……なんて。

たっぷり泳いだらお腹がすくよね。レストランでお昼ごはんだ。いつもは小食の子もスパゲティーをべろりと。ん?



ちょっと待った。お父ちゃんビールは駄目ですよ。つくしんぼに着くまでは。

新日本友の会様から備品購入費を助成していただきました!!

このたび、新日本友の会様から頂いた助成金により、おかげさまでテント、ポップコーン製造機、発電機を購入することができました。

子ども達だけでなく、お母さん達にもとにかく大人気なのが、ポップコーン製造機です。

おやつの時間、目の前でポンポンはじけてできあがるポップコーン。見て楽しめ、もう一度食べて楽しめるから嬉しいのなんのって。

つくしんぼには好き嫌いの多い子が結構いますが、さすがにポップコーンの嫌いな子はいません。

また、ポータブル発電機を購入できたことで、お祭り等への参加の時に電源に困ることもなくなりました。

(電圧が低くポップコーンができなくて泣いたこともあるんです)

テントも、つくしんぼガレージセールだけでなく、あらゆるイベントで活躍してくれています。

新日本友の会様、本当にありがとうございました。大切に使わせて頂きます。

ささえる会ご入会・ご更新ありがとうございました

迫様、小林様、土屋様、村木様、池上様

ご寄付・ボランティアありがとうございました

高尾様、箱崎様、新卓様、五味様、福森様、荒川様、折戸様、鶴田様

(8月)

♪♪♪つくしぼ日記 その２♪♪♪

8月某日(?)　天気 晴れ

今年から稼働しているつくしんぼのクーラー室にいつの間にかみんなが集まってきます。おやつの時間にはまだ早いんだけど、暑いことだしかき氷を食べて涼しくなろうっか。

氷を入れてみんなが順番にグルグルとかき氷機を回します。そして、イチゴにメロン、ブルーベリー、好きなシロップをかけます。みんなおかわりをしたね。食べ過ぎちゃって、

口のまわりと舌がメロンのシロップ色、みどり色になっちゃった子もいたね。

さぁ、食べて元気になったら暑い陽射しにも負けず、バスケットボールだ。

誰?　まだ食べている子は……。

1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
1998年９月21日発行　ＳＳＫＰ通巻658号　　つくつく通信No. 26

SSKP

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
つくしんぼは月曜日から金曜日の放課後～午後５時まで開いてまーす!!
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

つくしんぼ 交遊録

夜のひとりごと

岩田 雪子

ただいま午前０時20分。今日は久々に夜更かししている……。

父・娘・息子はもう夢の中にいる。（いいナァ、イイなぁ……）

私も早く寝たい。（もちろん一人で……）

早くこれを書き上げて布団に入らないと、奴（メチャメチャ可愛い真之介）が起きてしまう。彼は今朝？ は何時に起きるのだろう。

（注：真之介はいつもだいたい４時から５時の間に目覚める。その途端にパワー全開!! 早寝早起きは健康によいのだが、私のお肌にはよくないのよね。気は若くても体は正直で、すぐに……出る悲しや、淋し私の体の年齢。でも心の年齢は20代さ～っ）

何故……私が夜更かししているのか、それはもちろんこの原稿の為、頼まれてたこと、すっかり忘れていた。私、そう、私がいけない。

さて何を書こう。とりあえずつくしんぼとの出会い？ かな。

出会いは山下家の大輝君と私が溺愛する真之介が、すみれのフォローで一緒だった時から。でもつくしんぼができても、名前だけのほとんど幽霊会員で、ほとんど参加していなかった。

真之介がなかなかつくしんぼに慣れてくれなくて、子が中に入ってくれなきゃ親はもっと入っていけない。（私、こう見えても人見知りするし、内弁慶なのヨ）

このままつくしんぼを去るのだろうか、と思っていた今年の４月、二人の偉大なステキな（???）男性の出現によって、彼はつくしんぼが好きになった。何年かかっても無理だったのに。この二人の男性によって、彼の心がつくしんぼをすんなりと受け入れた。

うーん、すごい……。（これは山下さんのパパも認めている）

子が中に入っていければ、私もＯＫ。あっという間に本来の私の姿が現れ始めた。（ちょっと困った……）

なんやかんやダラダラ書いている間に、時計の針は２時を過ぎた。外では秋の虫が鳴いている。そして怖いことに、部屋の向こうから彼の声が聞こえてる。

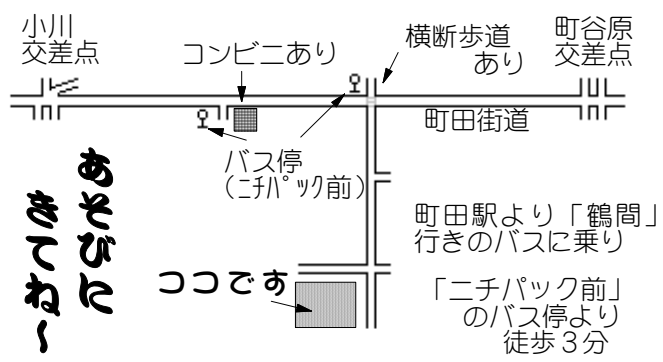
え？ もしかしたらこのまま起きてパワー全開になるのかな……。

私は……ねむい……。

今夜こそステキな夢を見ようと、ハードボイルドの本を枕もとにしっかりおいてあるのに……。

それではみなさん、おやすみなさい……。

♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

つくしんぼ 田植えごよみ ～9月10日～

さらにグングン成長し、稲穂がいっぱいつきました。もう頭が重そうで、みんなお辞儀をしています。岩手に行った六十苅氏が「ウチの米よりよく育っている」と言ってくれています。

スズメ達に食べられてしまうと、私達の食べる分がなくなってしまうので、現在、周囲に網を張る計画中です。

残暑もほとんどなく、季節はもう秋……。

「つくしんぼをささえる会」ご入会 ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで今年四月より補助金を頂ける団体として認めて頂けることになりました。

しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。

そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。

会費は年間、一口二千円でお願いしております。

会員になって頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」お届けさせて頂きます。

年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

郵便振替口座番号　00120-7-168283
加入者口座名称　　フリースペースつくしんぼ

編集後記

夏休みがなんとか無事おわりました。

毎日、朝から夕方まで活動しなければならないと思い、戦々恐々としていたのですが……よく考えたらつくしんぼは就労保証をしているわけでないので、無理して一日じゅう活動する必要ないと父母会で決定し、基本的に午後だけの活動となりました。

なんてったって、さすがに一日じゅうつくしんぼにいたら、子ども達だって飽きてしまいますから。

今は九月。学校も始まり、元のペースに戻れるかなと思いきや、これがそうもいかず……。

諸々の都合により、現在つくしんぼはたった二人の職員で毎日の活動を維持しています。やはり正規職員が必要だよなあと思う今日この頃です。

でも、補助金の総額は限られているし、来年度はどうやって運営していけばいいのでしょう？

悩みは尽きません。

発行所　東京都世田谷区砧6～26～21
身体障害者団体定期刊行物協会
定価50円

～この通信を掲示、あるいは置かせて頂けるお店や施設等を探しています。よろしかったらご連絡下さい～